



平成 29 年 3 月 29 日

各 位

会社名 テクニカル電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 嶋田 浩司
(JASDAQ・コード番号：6716)
問合せ先 執行役員 管理本部本部長 広瀬 薫
電話番号 03-3762-5152

特別損失（減損損失及び事業構造改善費用）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期決算において、下記のとおり特別損失（減損損失及び事業構造改善費用）を計上する予定であります。これに伴い、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上及びその内容

当社が保有する遊休資産、アグリ事業及びその他事業（アクア事業）において、事業環境の変化に伴う収益性の低下が認められることにより、回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を特別損失（減損損失）として 84 百万円を計上する予定であります。

2. 特別損失（事業構造改善費用）の計上及びその内容

当社連結子会社である E P E 株式会社の事業構造改善費用に伴い固定資産移転費用、固定資産除却損、リストラ費用、コンサルティング費用等を特別損失（事業構造改善費用）として 122 百万円を特別損失として計上する予定であります。

●業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,700	260	200	70	8円73銭
今回発表予想 (B)	6,400	50	5	△ 170	△21円20銭
増減額 (B-A)	△ 300	△ 210	△ 195	△ 240	
増減率 (%)	△ 4.5%	△ 80.8%	△ 97.5%	—	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	6,509	218	134	50	6円31銭

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,100	330	200	24円94銭
今回修正予想 (B)	5,830	190	15	1円87銭
増減額 (B-A)	△ 270	△ 140	△ 185	
増減率 (%)	△4.4%	△42.4%	△92.5%	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	5,829	250	168	21円00銭

修正の理由

(1) 連結

売上高は、駐車場運営事業と駐車場機器事業は概ね予想通りであったものの、電子機器部品事業においては、当社連結子会社であるE P E株式会社の生産拠点再編に伴い、工場稼働日数が減少した影響等もあり、当初の予想よりも大幅に減少する見込みであります。アグリ事業においても、原油価格が下落し、新たな商材の拡販に努めたものの当初予想より減少し、その他事業（主にアクア事業）においても、水素水についてマスメディアや公的機関からネガティブな報道がされる等、当初予想より売上高が減少する見込みであります。

損益面につきましては、粗利益率の高い電子機器部品事業の売上高の減少により、営業利益、経常利益がそれぞれ予想を下回る見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、当社の子会社であるE P E株式会社の事業構造改善に伴いE P E株式会社が所有している土地・建物を売却し固定資産売却益を 33 百万円計上する見込みであるものの、固定資産の移転費用、固定資産除却損、リストラ費用、コンサルティング費用等の事業構造改善費用が 122 百万円発生する見込みであります。また、当社においても遊休資産、アグリ事業、その他事業（アクア事業）において、減損損失を 84 百万円計上する見込みであり、当初予想を下回る見込みであります。

(2) 個別

売上高は、駐車場運営事業と駐車場機器事業は概ね予想通りであったものの、電子機器部品事業においては、売上高が予想よりも減少する見込みであります。アグリ事業においても、原油価格が下落し、新たな商材の拡販に努めたものの当初予想より減少し、その他事業（主にアクア事業）においても、水素水についてマスメディアや公的機関からネガティブな報道がされる等、当初予想より売上高が減少する見込みであります。

損益面につきましては、売上高の減少、原価低減が当初予想よりも推進できなかったことにより、経常利益が予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、遊休資産、アグリ事業及びその他事業（アクア事業）において、減損損失を 84 百万円計上する見込みであり、当初予想を下回る見込みであります。

※上記の業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上